

2014年3月

土木学会を母体にした建設系 NPO 中間支援組織が設立

平成 26 年 3 月 24 日土木学会講堂において建設系 NPO 中間支援組織の設立総会が開催されました。この組織は土木学会が 2004 年 11 月に創立 100 周年を迎えるに当たり「豊かなくらしの礎をこれまでも、これからも」をメインテーマとした 100 周年記念事業の一環として設立されたものです。組織の名称は特定非営利活動法人「シビル NPO 連携プラットフォーム」(英語表記: Civil NPO Collaboration Platform:略称 CNCP)と決定しました。この組織は、幅広い活動を通じて建設系 NPO 法人の基盤強化をはかり、行政や企業、教育、研究機関、そして地域・市民組織とのパートナーシップを通じて、より良い地域社会の構築を目指すものです。

新組織の役員には代表理事に山本卓朗氏(第 99 代土木学会会長)が選任されました。また、事業化推進担当役員として設立準備委員会のメンバーとして尽力してきた辻田代表が常務理事として選任されました。その他、役員顔ぶれは世古一穂氏(NPO 研修センター代表)、太田弘氏(熊谷組会長)、関谷昇氏(千葉大学経済学部准教授)、青山俊樹氏(日本河川協会理事)、藤本孝也氏(全国街道交流会議代表)、橋本鋼太郎(土木学会会長)らの面々で、この組織が今後我が国の建設系 NPO を束ねる中核的な組織に成り得るものと思います。

オフィシャルマークは辻田代表がデザインしたものが採用されました。コンセプトは CNCP の誕生が土木学会を母体にした組織であることが常に意識されるように土木学会のオフィシャルマークのデザインに故意に類似したものにしました。もちろん事前に土木学会事務方との相談の上決定されたものです。

